

# スポーツのチカラ まちのミライ

vol.23

2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会が実現すると、  
私たちの街・札幌はどのような姿へと変貌を遂げるのでしょうか？

観光情報誌の編集者を経て現在は北海道の地域産業の育成と振興に尽力する村澤規子さんにお話を伺いました。

まだ知られざるふるさと札幌の魅力  
地元愛を育み世界にアピールを

北の旅レシピ代表  
流通問題研究協会 研究員  
北海道「地域フード塾」講師 兼 事務局

村澤 規子 さん

1964年生まれ、札幌市出身。「北海道じゃらん」副編集長、北海道専門の予約サイト「ぐうたび北海道」初代編集長を経て、「北の旅レシピ」を立ち上げる。編集者として道内各地で体験取材した経験を活かし、北海道主催の「地域フード塾」の講師兼事務局を務めるなど、食を通じた地域産業の振興に尽力している。

取材協力: Le Mansa (ルマンサ)

“共感”と“感動”をキーワードに  
札幌の多彩な魅力を国内外に発信

ユニークで独創的な歴史と文化、都心部からアクセスしやすいスノーアクティビティや温泉、全道各地から集結する抜群に美味しい食の数々。豊かな自然と都市機能が共存し、人々の暮らしと観光産業がバランスよく両立しているのが札幌市の魅力です。その多彩な魅力を広く、しっかりと伝えたい。人を動かすのはデータではなく、感動や共感、サプライズです。観光ガイドブックやパンフレットなどから一方面的な情報を受け取るしかなかった時代に比べ、今はSNSや口コミなどで能動的に情報を手に入れる時代。私たちは札幌の魅力を、個々の体験に基づいた「楽しい、うれしい、ワクワクする」といった実感にのせて、もっと積極的に発信するべきだと感じています。

世界に誇れる札幌であるために  
市民がもっと街を知り楽しんで

2030年冬季オリパラ招致が実現すると、札幌市は全世界から注目が集まります。まだまだあまり知られていない様々な観光資源を国内外にアピールできる絶好の機会であり、社会課題に即した新しいまちづくりに取り組むチャンスでもあります。この好機を活かし、札幌市が国際的な観光都市としてさらなる発展を目指すためには、まず何よりも市民自らもっと自分の街を知り楽しみ尽くして、ふるさとの魅力を再発見する必要があると思います。市民一人ひとりの地元愛が説得力のある生の声として共感を呼ぶことができれば、世界に向けてこれ以上ない街のアピールと魅力の発信につながるのではないのでしょうか。

問い合わせ先

札幌市スポーツ局招致推進部調整課 ☎011-211-3042



食や自然など多くの魅力に恵まれた  
「笑顔になれる街」さっぽろをイメージしたロゴです

問い合わせ先

札幌市総務局広報部広報課 ☎011-211-2036